

DOYU

I W A T E

5
May.

2026
Vol.188

同友いわて

特集

第56回中小企業問題 全国研究集会 in 岩手

～1,002名で語り合った、学び合った
中小企業と私たちの未来～



第56回 中小企業問題全国研究集会 in 岩手

主催 / 中小企業家同友会全国協議会

設営 / 岩手県中小企業家同友会



岩手県中小企業家同友会

同友会の三つの目的
1. 同業種、同業種、同業種に所属する企業と交流し、事業の発展と地域の活性化を図ることを目的とする。
2. 同業種、同業種、同業種に所属する企業と交流し、事業の発展と地域の活性化を図ることを目的とする。
3. 同業種、同業種、同業種に所属する企業と交流し、事業の発展と地域の活性化を図ることを目的とする。



よい会社をつくらう。よい経営者にならう。よい経営環境をつくらう。
岩手県中小企業家同友会 | <http://www.iwate.doyu.jp/> |

「世界ぜんたいが幸せにならなければ、

個人の幸せはありえない」

第56回中小企業問題全国研究集会in岩手

1,002名で語り合った、学び合った中小企業と私たちの未来

第56回中小企業問題全国研究集会in岩手が、3月5日～6日の両日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングを主会場に、全国から1,002名の方々をお迎えし盛大に開催されました。

3月5日(木)には岩手の特色を生かした二つの分科会を含む、14の分科会を同時開催しました。ベアレン醸造所の嶋田洋一社長の実践報告と工場の見学を交えた分科会をはじめ、人口減少、少子高齢現象が大きく影響する地方の、今後の持続可能性を考える「持続可能な地域づくり」を考える分科会など、岩手からの発信も存分にさせていただきました。

また夜は岩手同友会会員13社による物産展や懇親会を開催し、連携、連帯の輪を大いに広げました。

3月6日(金)の全体会では、岩泉ホールディングスの山下社長の記念講演、岩手リアス支部所属の3人の報告者による、震災から15年の取り組みとこれからの展望を語る特別企画と、日常の取り組みだけでは得られない気づきや刺激をいただき、充実した全国の皆さんとの時間となりました。

この半年で岩手同友会500名達成、そして1,000名をお迎えしての全国研究集会開催と、この半年での組織としての成長は大変大きなものがありました。今号では二日間の全研の写真を、特集としてご紹介します。

2026年3月5日(木) 第1日目分科会



緑のハッピーでお迎え「ようこそ岩手へ!!」



14の分科会で中小企業の経営課題を本音で語り合った300分



ベアレン醸造所見学分科会



平和問題・地域の持続可能な未来を学び合う



岩手の〰おもてなし〰で盛り上がった懇親会



盛岡市長 内舘茂氏





岩手県知事 達増拓也氏





おかげ様で、1,000名を迎えてのあっという間の2日間が無事終了しました。1年半にも渡る準備、実行委員会、大変ありがとうございました。

岩手同友会
創立35年目にして、
初めての500名会員達成！

第56回中小企業問題全国研究集会の開催に先駆けて、1月23日に岩手同友会は500名会員を達成しました。1991年の創立から35年目を迎える今年、初めての大会突破となりました。

500名を目前にしたことは何度もありました。なかでも2011年は県内全域で支部づくりが活発に進み、「いよいよ今年は」と思っていた矢先に起きた東日本大震災でした。

それから15年。復興の進展に合わせるかのように、遅々として進まない日々が続きます。コロナ禍を経て350名を切るまでに会勢は落ち込みました。岩手同友会ではこの20年、目標として掲げた増強数を一度も達成したことがありませんでした。

そんな折、2026年3月開催の第56回中小企業問題全国研究集会の運営を担うことになり、あと開催まで半年に迫った9月の理事会でのことでした。田村満代表理事から、「500名は全国の皆さんとの約束でしょうか。期待されている以上、それに応えるのが経営者ではないか。」との真剣な問いかけがあり、そこから奮起した理事26人全員と事務局での一致結

束しての大増強運動が展開されました。そのエネルギーは爆発的で、僅か3か月半で80名の入会をいただき、無事達成となりました。

達成3日後の1月26日は、中同協から中山幹事長をお迎えしての2026新春講演会でした。祝賀の席で中山氏は「聞いたとき、初めは信じられなかった。奇跡を越えて、非常識と言ってもいい程のことをやり遂げた。本当におめでとう。」とお祝いの言葉をいただきました。誇らしく同友会運動に確信を持った理事の皆さんの表情に、岩手の未来に責任を持つ強い意思を感じた一日となりました。



中東情勢緊迫化

中小企業と地域への影響が大きく
国へ、県へ、自治体へ

切実な声をいち早く届ける

中東情勢の緊迫化は原油価格の高騰、そして建設資材をはじめ日常現場に必要な塗料や部材の供給遅れ、受注停止などの影響が出ています。

岩手同友会では4月6日、10日に第一次影響調査を実施しました。調査結果では、「すでに影響が出ている」(69.4%)、「現時点では影響はないが、今後は可能性がある」(26.4%)と、回答企業の約96%が、今回の事態が経営に影響を及ぼすと捉えています。

また影響についての具体的な内容では、ほとんどの回答企業が悲痛な叫びが吐露されており、先行きは極めて不透明です。

そこで4月16日(木)には県の阿部博商工労働観光部長に、4月23日(木)には陸前高田市の佐々木拓市長に直接調査結果と第一要望書をお渡しし、皆さまの切実な声を行政機関に届けました。その後の懇談では、現状の企業の声をもとに、今後の緊急対策につい



ても一緒に協力ができるようなところがないか、など、率直な意見交換ができました。今回の緊急事態はコロナ禍やリーマンショックと

は大きくその性質が異なります。仕事はある。先の受注もすでに見えています。しかし現場で必要なモノが届かない、資材がない、塗料がないなど、こうした供給ストップの連鎖により広がる影響が益々大きくなっています。こうした経験はこれまでのリーマンショック、大震災、コロナ禍などの緊急時の中ではなかった、初めてのケースです。

今後も状況の変化に応じて第2次調査および、第2次要望書を作成し、いち早く対応して参る予定です。皆様には大変な中で恐縮ではございますが、お力添え賜りますようお願い申し上げます。

岩手同友会では、今後も、こうした環境変化の状況を随時お伝えして参ります。大変なときにこそ、真価が問われます。知恵を出し合い、関わり合い、協力し合い、この難局を乗り越えて参りましょう。



以下は現在の供給ストップの状況の背景と「経営者として、企業として、今何をすべきか」について会員の皆様にお送りした内容をあらためて掲載させていただきます。

「経営者として、企業として、今何をすべきか」 中東情勢緊迫化～正確な情報をつかみ経営理念に立ち返って～

1. 「現時点での正確な情報を丁寧に確かみ、社内で話し合い、情報を共有する」ことで、社員の不安が和らぎます。まずは話すことから

今回の緊急事態はコロナ禍やリーマンショックとは大きくその性質が異なります。仕事はある。先の受注もすでに見えています。しかし現場で必要なモノが届かない。資材がない、塗料がない。こうした供給ストップの連鎖により広がる影響は、これまで経験した緊急時の中では、ありません。

先日(4月15日(水))に仙台の東北経産局に伺った際に直接担当者の方から聞いた話では、国では「川上(大手供給元)から川下(中小の現場)への供給の目詰まり」が根本原因であることを既に掴み、全力でモノを上流から下流に流す対応策を講じている。現在は大手の供給元を中心に、プラ製品などの原料であるナフサについて、年内一杯供給分が十分に用意されていることを、データを交えて大手各社に説明を続けている旨のお話がありました。

内閣官房のホームページでは、こうした情報が随時更新されています。SNS等で投稿されている情報など鵜呑みにして焦ってしまう社員も多くおいでです。こうした時にこそ正確な情報をまずは社内で共有することが重要です。そしてじっくり社員と向き合い、不安な気持ちを正面から受け止めることも重要です。経営者の皆さまのそうした姿勢は、焦って不安になる社内を落ち着かせ、冷静に考えることができる時間を生み出してくれます。

その上で今後の見通しについて、業界の現状や社会の変化をもとに(例えばTOTOのユニットバスの事例のように)、徐々にモノは動いてくることは間違いないこと、仮に更に状況が悪化する場合でも、国や県では企業を守るためのセーフティネットを敷く準備をすでに整えていることなど、丁寧に伝える(共有する)ことが重要です。

2. こうした時間ができたときにこそ、「経営理念、経営指針に立ち返る」ことも必要です。

こうした緊急時にこそ、私たちの目的「何のために」を振り返り、私たちが地域経済の支えであり、地域の暮らしを守る根幹であることをあらためて確認し、地域に根ざす企業としての矜持と誇りについて再度認識し合うことも、大切な視点です。大変なときにこそ、理念に戻ることで、次に何をすべきか見えてきます。

3. 緊急時には企業同士の協力で助け合い、互いに支え合いましょう

「モノが届かない」「注文を受け付けてくれない」となると、「明日の仕事もできない」と焦ってしまうことは当然のことです。こういったときにこそ1および2を社内で取り組みながら、横のつながり、連携も意識し、地域の仲間としての企業同士

が連帯して危機を乗り越える知恵も生かしましょう。業界や地域内での強い連携は、こうした時にこそ生きてきます。

まずは経営者同士で連絡し合ってみましょう。モノがあれば互いに融通し合う、それぞれの特長や強みを生かし、互いに助け合うことも可能でしょう。何よりも一人で悩まないで、まずは話してみることで、意外に近くに解決方法が生まれてくることもあります。

岩手同友会では、いつでもどんな内容でもご相談できる窓口をご用意しています。

お気軽にご連絡ください。

※岩手同友会 中東情勢緊迫化・相談窓口 TEL 019-626-4477

4. 金融機関には状況をつぶさに説明し、今後の追加融資等の可能性も聞いておきましょう。

何よりも緊急時には、手元の資金が重要です。資金需要に対応できる方法を探っておきましょう。まずどれだけの影響を受け、先行きに不安があるかなど、丁寧に金融機関に話しておくことで、今後状況が悪化した場合でも、緊急で出される国の支援策（政策金融公庫等）などの活用法を、提案いただける可能性もあります。また金利や条件などを聞いておくことで、申し込みがスムーズに進みます。少しでも早い万全の準備が、これから資金需要が起きたときにも安心です。東日本大震災時にも、こうした関係が後の復興に繋がった例はいくつもあります。

5. 企業と雇用を守るための対策（雇用調整助成金の活用）を今から念頭に

燃料、原料調達先の確保など、政府の見通しはやや楽観的にも感じます。ただし今回のような災害級の影響は、長期間続く可能性も否定できません。コロナ時にも影響が出始めたときには数年にわたりあれだけの環境悪化があるとは思ってもみませんでした。「一度離れた社員は、二度と戻ってこない」ということは、これまでの災害対応でも、私たちは何度も経験してきました。今後、県の制度融資枠の緩和や国の救済制度が拡大適用される可能性もございます。また長く影響が続くと見たときには、雇用調整助成金についても、適用要件が緩和される可能性もあります。

政府からの発表を常に注視し、企業と雇用を守るためのあらゆる手段の活用を今から考えておく必要があります。

また雇用調整助成金の活用をする場合でも、次の企業成長のための投資と捉え、社員が講師役になって教育訓練を行う制度の活用など、経営者は雇用を守りながら次の成長の機会へ向けた考え方を、準備することが重要です。

6. 価格交渉のためのツールを活用し、適正な価格転嫁を丁寧に進め、企業を守る手段を

政府は、発注側企業や官公需に対して、原材料やエネルギー価格の上昇を踏まえて、適切な価格転嫁を要請しています。しかし岩手同友会の調査結果を見ると、特に他県と比べても、価格交渉を遠慮している企業が多くあるようです。

価格交渉は企業存続のための正当な行為です。むしろ現在の物価上昇分、人件費の増大分を転嫁ができなければ、企業は存続することはできません。いま経営者に求められる具体的な行動は明確です。

原材料価格の高騰は自社独自の努力だけでは、吸収できる範囲を超えています。取引先とは継続的に交渉を進め、適正な利益を確保するために全力で臨みましょう。

その際、価格交渉のための客観的な根拠を提示することは必須の条件です。

誰でも使える資料作成サイトを以下ご案内します。ぜひ活用されてみてください。

◇埼玉県が公開する、誰でも活用できる価格交渉ツールおよび収支シミュレーター、原材料価格の推移・根拠資料作成ツール

埼玉県が作成した価格転嫁資料作成ツール

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/library-info/kakakukoushoutool.html#download>

収支計画シミュレーター

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/library-info/kakakukoushoutool.html#simulation>

原材料価格の推移の根拠資料作成ツール

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/library-info/kakakukoushoutool.html#download>

7. 誤った情報や外部環境の変化に振り回されない柔軟で強じんな企業体質の基盤づくりを

円安基調が続く中で物価の高騰、人件費の急激な上昇。これに加えてモノが届かない目詰まり現象。果たしてこの先どうなるのか、先行きの心配は尽きません。しかしこんな時にこそ、経営者の力量が問われます。

上述のとおり、緊急時に備え資金の確保の見直しをつけ、モノ調達を順調にするための対策、価格の適正転嫁策を丁寧に講じ、雇用を守るための準備を万全にしておく。これからどう転ずるかかわからない情勢下でこうした準備を入念にしているかどうか、今後の企業の行く先を決めていきます。

もしかしたら、目詰まりが解消すると急激に物流が流れ始め、経済が大きく進展する可能性もあります。果たして私たちの願いとは反対に紛争が激化し、この状況が長く続く可能性もあります。

ただしわかっていることは、いつかは必ず、回復する時は訪れます。（コロナ禍のときを思い返していただければ、イメージがつくと思われます）それまでに、今どのように耐えしのぎ、次への飛躍のための準備をしているかにかかっています。

大変なときにこそ、真価が問われます。知恵を出し合い、関わり合い、協力し合い、この難局を乗り越えて参りましょう。

支部・部会通信

盛岡支部

3月例会

新しい仲間とじっくり 討論する新会員歓迎例会

「同友会と私」を それぞれの視点で語る



昨年度から、盛岡支部では約25名の新しい仲間を迎えました。これまでは新会員オリエンテーションが開催されました。

3月24日(火)盛岡市中央公民館中会議室に於いて盛岡支部3月新会員オリエンテーション例会が開催されました。昨年度から、盛岡支部では約25名の新しい仲間を迎えました。これまでは新会員オリエンテーションとして開催してきましたが、幹事会の中で「同友会の良さを例会で報告を聞き、グ

ループ討論をしつかりすること、新会員に伝えたい」との意見が出されました。今回はその口火をきいて、第1地区長(株)盛高商店 工藤尚氏、第2地区長(有)小川原自動車販売 小川原一成氏、第3地区長(株)仙北造園 佐藤康之氏、第4地区長(ソニックジャパン)株吉田長美氏)の4名から「同友会と私」の同友会ってこんな会だったんだ!とテーマに、盛岡支部長(有)くらし建築工房 中村喜一氏)が進行役で報告されました。

真剣に向き合ってくれる仲間がいるのはこの会しかない!

4名の地区長からは、共通して「会社には経営指針が絶対に大切。同友会の仲間がいなかったら、自分自身の抱えている悩みを相談することもなく、一人で孤独になっていく。そんな時、同友会の仲間が真剣に自分事に聞いてくれ、厳しくも暖かく向き合っ



県央支部3月例会が3月23日(月)に紫波町中央公民館で開催されました。「同友会100%活用術教えます」をテーマに、

県央支部

3月例会

「同友会100%活用術教えます」

2017年に行った同友会のエネルギーシフト研究会の欧州視察では、地域を大事にする会社の重要性を再認識し、「社員が自社を誇りに思い、かつこい大人(ヒーロー)として輝ける環境を作りたい」と話します。そのため、社員を同友会の社員共育塾へ参加させることで、経営者の主観に頼らない現状把握とともに、他社の社員と一緒に広い視野で学ぶ機会を積極的に活用しています。

お二人の話から、経営者が自社の理念やビジョンを明確に社員に示し、社員と誠実に向き合うことが、採用難を乗り越える鍵であると話す姿に、その後のグループ討論も大いに盛り上がった例会となりました。

てくれた。これは絶対他の会ではないこと。」と話されました。今回参加された新会員から「報告をお聞きして、グループ討論で、社員とのコミュニケーションが大切で、会社では社員が主役であるということ学びました。」人材不足は共通の悩みですが、これを解決するにも会社のおれない軸や理念を確立していることが大事だと思えました。」とそれぞれ感想をいただきました。

SS建築デザイン室(有)代表取締役 佐々木江美氏、信幸プロテック(株)専務取締役 村松直子氏よりご報告いただきました。

失敗を通して学んだ 社員への思い

佐々木氏は創業30周年の節目で2代目社長に就任。採用について様々な媒体を活用して失敗を重ねながらも、「誰に向けて発信し、ともに働いていく人をどう見極めるか」として「いかに社員が輝ける環境を作るか」という課題に真摯に向き合っている様子を報告いただきました。

村松氏は「採用よりも離職しない組織作りエネルギーを注ぎたい」と話します。毎年、経営指針書の中で、全社員が「65歳までの人生設計」や「10年ビジョン」、「1年間の自己啓発計画」を作成し、会社一丸となつてありたい姿に向けた取り組みを積み重ねることを大事にしています。

「聞く」姿勢を大切に 誠実に向き合うこと

村松氏の会社は、新卒採用について、既存の求人媒体に頼るのではなく「個別的な関係作り」を重視しています。インターンシップでは以前は自社の良さを伝えることに注力していましたが、現在は学生の話をしつかり聞く時間を設け、相手を深く知ることによって相互理解が深まり、結果として「この会社に入りた」と言ってくれる学生が増えました。

バラエティ豊かな
メンバーと
一緒に学ぶ12カ月
「ツキイチ144大学」

「知りたい!」「学びたい!」
をツキイチで

らじつくりテーマに向き合いながら実践に結びつけています。

想いを人から人へ紡ぐ

岩手同友会女性部会は毎年、年間計画を作り「ツキイチ144大学」を開催しています。女性はもちろんのこと、企業の女性社員や男性経営者も即仕事に生かせる知識をエキスパートから学んでいきます。また、女性経営者から自分の経営体験を報告していただき、グループ討論をしながら



高橋奈緒美氏

1月は「人と健康つなぐ経営とブランディングの実践」のテーマで(株)KYO-EIのブランディング部長の高橋奈緒美氏より報告いただきました。幼少期、母が倒れた時に置き薬販売の方に助けてもらった経験から共栄薬品に営業事務として入社。「想いを人から人に紡ぎ、ご縁の大切さを伝えながら300年続く置き薬販売の商法を大切にしています。これからも、ブランディングや健康経営など時代に合わせて常に新しいチャレンジをしながら、社員を大切にする自社らしさを守り続けていきたい。」と報告されました。

企業変革支援プログラムの活用で自社の強み・弱みを発見!

2月は企業変革支援プログラムの学習会として杜陵テクノ(株)代表取締役 川村武司氏より「企業変革支援プログラム



ムの活用で自社を変革」のテーマで報告され、実際にテキストを使いながら自社をチェックする学習会を開催しました。参加の皆さんからは、「実際やってみると自社の課題がよくわかる。その課題をどうこれから解決していくかを社員と共有したい。」「1回だけで終わるのではなく継続して続けていかなければ、解決はしないということを感じました。」という感想がありました。女性部会は2026年度も144大学を継続しながら女性ならではの生活者の視点や感性を活かし、子育て生活と仕事の両立を考えていきます。そして誰もが共に学び合い自らが成長し、よい会社づくり、よい地域づくりに繋がります。よう企業で実践していきます。

岩手同友会第36回定時総会のお知らせ

日 時 2026年5月27日(水)
総 会 13時00分～15時00分
記念講演 15時00分～18時20分
懇親会 18時30分～20時00分
会 場 ホテルメトロポリタン盛岡本館
(盛岡市盛岡駅前通1-44 Tel 019-625-1211)



記念講演

テ ー マ 「経営指針の『確立』は、経営者の生き方にある」
～気仙との縁(えにし)で結ばれた、社員の夢を叶える経営～
講 師 株式会社給材 代表取締役 宮崎 伸洋氏
(新潟同友会代表理事・政策委員長)

会社概要

設 立 1991年8月 資本金：1,000万円 社員数：20名 パート・アルバイト：19名
事業内容 学校、保育園給食用食材卸、飲食事業(お弁当製造、居酒屋、こども食堂)
U R L <https://www.kyusyoku.co.jp/>

新 会 員 紹 介

2026年1月から入会した新会員の皆さんを紹介します！

支部地区	盛岡支部 盛岡第4地区
氏名	川村 和人
企業名	ソーテクノ (株)
役職名	取締役
住所	盛岡市下飯岡 14 地割 99-11
T E L	019-614-2511
F A X	019-614-2512
事業概要	管工事・水道施設・一般土木・基礎工事

支部地区	岩手リアス支部 気仙地区
氏名	小野寺 宏真
企業名	(株) 松栄堂
役職名	代表取締役
住所	西磐井郡平泉町平泉字宿 122-4
T E L	0191-34-1333
F A X	0191-34-1336
事業概要	菓子製造販売

支部地区	盛岡支部 盛岡第3地区
氏名	大久保 誠
企業名	リアス観光 (株)
役職名	代表取締役
住所	岩手郡雫石町高前田 52-2
T E L	019-601-7735
F A X	019-601-8500
事業概要	貸切バス事業、旅行業

支部地区	盛岡支部 盛岡第4地区
氏名	田村 昭徳
企業名	岩手道路開発 (株)
役職名	代表取締役
住所	盛岡市東見前 3 地割 29
T E L	019-656-1860
F A X	019-656-1861
事業概要	区画・道路標識などの、交通安全施設業、道路維持工事

支部地区	県央支部
氏名	近藤 正彦
企業名	(株) 近藤設備
役職名	代表取締役
住所	北上市流通センター 6-13
T E L	0197-62-5090
F A X	0197-62-5091
事業概要	管工事業全般・加工管製作・3D スキャナー計測・BIM モデル

支部地区	岩手リアス支部 宮古・釜石地区
氏名	大崎 博晃
企業名	(有) 陸中協同クリーンサービス
役職名	代表取締役
住所	宮古市八木沢第5地割 70-1
T E L	0193-63-1158
事業概要	し尿汲み取り運搬、一般・産業廃棄物収集運搬、グリーントラップ清掃

支部地区	盛岡支部 盛岡第1地区
氏名	高宮 雅史
企業名	(株) 二富電機
役職名	専務取締役
住所	盛岡市山岸字名乗 16
T E L	019-663-8500
F A X	019-663-5353
事業概要	電気工事業・電気通工事業

支部地区	岩手リアス支部 宮古・釜石地区
氏名	木村 仁寿
企業名	(株) 緑仁舎
役職名	代表取締役
住所	釜石市中妻町 2-2-11 山一ビル 1F
T E L	0193-27-7133
F A X	0193-27-7143
事業概要	造園(設計施工・管理)、樹木剪定、草刈、伐採抜根、薬剤散布他、外構工事

支部地区	県央支部
氏名	細川 榮子
企業名	行政書士細川榮子事務所
役職名	代表
住所	紫波郡矢巾町大字岩清水 11-27-2
T E L	019-697-5770
F A X	019-697-5760
事業概要	行政書士業務

支部地区	県北支部 岩手山麓地区
氏名	沼田 敦
企業名	フェンス工業 (株)
役職名	代表取締役
住所	岩手郡雫石町長畑 120-1
T E L	019-691-2900
F A X	019-692-5631
事業概要	建設業 公共工事、一般民間工事、住宅関連の外周工事の専門業

支部地区	盛岡支部 盛岡第1地区
氏名	大志民 衛
企業名	おおしだみマッサージ指圧院
役職名	院長
住所	盛岡市肴町 3-5 SNI マンション 1F
T E L	019-613-3614
事業概要	マッサージ、指圧

支部地区	岩手リアス支部 宮古・釜石地区
氏名	浅田 康裕
企業名	(株) 浅田総合設備
役職名	代表取締役
住所	宮古市上鼻二丁目 6-73-5 号
T E L	0193-65-8182
F A X	0193-65-8183
事業概要	ビルマンション公共施設等の衛生、空調、消火設備工事に伴う配管工事及び機器類の設置、現場管理業務

支部地区	岩手リアス支部 遠野地区
氏名	佐々木 祐輔
企業名	菊池農園
住所	遠野市青笹町糠前 30-50-2
T E L	080-6041-6141
事業概要	農業

支部地区	県央支部
氏名	舘川 浩
企業名	インナーブランディング協会
役職名	代表
住所	紫波郡矢巾町大字高田第 13 地割 226-13
T E L	070-4487-2953
事業概要	中小企業の経営支援及び人材育成支援

支部地区	岩手リアス支部 遠野地区
氏名	五十嵐 俊弥
企業名	農業
住所	遠野市綾織町新里 17-15
T E L	090-7792-2195
事業概要	農業

支部地区	県央支部
氏名	吉田 拳
企業名	白矢産業合同会社
役職名	代表
住所	紫波郡紫波町日詰中新田 209-1-101
T E L	019-681-8451
事業概要	地域資源を活用した新商品の開発、販売、インフルエンサーマーケティングを活用した広告、宣伝企画など

支部地区	県央支部
氏名	村松 幸雄
企業名	合同会社南昌サンテック
役職名	代表
住所	紫波郡矢巾町大字広宮沢第 8 地割 5-1
T E L	019-697-3283
事業概要	太陽光発電売電

支部地区	盛岡支部 盛岡第1地区
氏名	久保屋敷 功史
企業名	(有) 正和空調
役職名	代表取締役
住所	盛岡市山岸大平 86-1
T E L	019-661-9470
F A X	019-661-8118
事業概要	配管工事業

支部地区	盛岡支部 盛岡第2地区
氏名	久ヶ澤 茜
企業名	Nearly equal (株)
役職名	代表取締役
住所	盛岡市盛岡駅前北通 8-19
T E L	090-7710-2616
事業概要	障がい福祉サービス事業（就労継続支援 B 型、自立訓練（生活）の多機能型事業所）

支部地区	県北支部 岩手山麓地区
氏名	千葉 若奈
企業名	しずくいし森の幸工房
住所	岩手郡雫石町西根上葛根田 81-2
T E L	090-2997-1427
事業概要	餅、味噌の加工及び販売

支部地区	県央支部
氏名	川村 幸則
企業名	フジケミ東京 (株) CM 事業部盛岡出張所
住所	紫波郡矢巾町西徳田 6-187-2
T E L	090-2278-9922
事業概要	塗装事業

支部地区	県北支部 岩手山麓地区
氏名	福崎 華織
企業名	森の香り
住所	岩手郡雫石町下町東 64-4
T E L	090-9428-5974
事業概要	米、大豆生産

支部地区	岩手リアス支部 気仙支部
氏名	河野 千秋
企業名	(株)八木澤商店
役職名	専務取締役
住所	陸前高田市気仙町字町 307-8
T E L	0192-55-3261
F A X	0192-55-3262
事業概要	食品製造業(しょう油、味噌、漬物、その他しょう油加工品)、飲食店、カフェ

支部地区	盛岡支部 盛岡第4地区
氏名	鷹背 江津子
企業名	ピュア(株)
役職名	営業部長
住所	盛岡市西見前 14 地割 99-5
T E L	019-637-2855
F A X	019-637-2857
事業概要	保険代理店業

支部地区	県北支部 岩手山麓地区
氏名	阿部 高志
企業名	(有)阿部製材所
役職名	代表取締役社長
住所	奥州市水沢工業団地 4-54
T E L	0197-23-5333
F A X	0197-23-5373
事業概要	木材・建材販売、断熱工事、建築工事、木育事業を展開。「木っていいね」という価値観をお届けします。

支部地区	岩手リアス支部 気仙地区
氏名	澤井 貴明
企業名	(株)Workers Innovation
役職名	代表取締役
住所	大船渡市末崎町字大豆沢 24-1
T E L	090-7064-8860
事業概要	太陽光発電蓄電設備の保安全管理、修理メンテナンス

支部地区	岩手リアス支部 気仙地区
氏名	澤井 律子
企業名	小友太陽光発電合同会社
役職名	代表社員
住所	陸前高田市気仙町字町 307-8
T E L	090-3122-0751
事業概要	太陽光発電事業

支部地区	岩手リアス支部 宮古・釜石地区
氏名	山下 欽也
企業名	岩泉ホールディングス(株)
役職名	代表取締役社長
住所	下閉伊郡岩泉乙茂字大向 23-2
T E L	0194-32-3008
F A X	0194-32-3009
事業概要	牛乳、乳製品、飲料水及び特産品の製造販売、道の駅

支部地区	岩手リアス支部 気仙地区
氏名	阿部 憲
企業名	(有)三栄商会
役職名	代表取締役
住所	大船渡市盛町字下館下 6-13
T E L	0192-27-7711
F A X	0192-27-8581
事業概要	自動車部品、工具、設備卸商

支部地区	岩手リアス支部 気仙地区
氏名	深堀 遼太郎
企業名	(株)パラドックス
役職名	ディレクター
住所	陸前高田市気仙町水上 57-3 水上団地 210
T E L	050-1791-2033
事業概要	企業理念の言語化・浸透、及び、理念を軸にしたブランディング事業

支部地区	盛岡支部 盛岡第1地区
氏名	キ原 悠輔
企業名	岩姫観光(有)
役職名	専務
住所	滝沢市長太郎林 235-2
T E L	019-688-4016
F A X	019-688-4056
事業概要	宿泊施設の運営(グランピング)

支部地区	盛岡支部 盛岡第4地区
氏名	丹代 一志
企業名	昆税理士法人
役職名	代表社員
住所	盛岡市東安庭 1 丁目 2-18
T E L	019-653-3030
F A X	019-653-3031
事業概要	税理士業

支部地区	盛岡支部 盛岡第1地区
氏名	小野寺 純
企業名	(株)読売岩手広告社
役職名	取締役営業本部長
住所	盛岡市本町通 2-3-2 読売盛岡ビル 3F
T E L	019-624-1650
F A X	019-624-1698
事業概要	プロモーション TV・Web を含めた総合広告代理店業務

支部地区	岩手リアス支部 大東・東磐井地域
氏名	小岩 仁
企業名	(株)KOIWA
役職名	代表取締役
住所	一関市花泉町花泉字横海道 1-6
T E L	0191-36-7711
F A X	0191-36-1178
事業概要	農業(西洋ネギリーキ、ナス)

支部地区	県央支部 県南地区
氏名	伊瀬 幸郎
企業名	セカンドストリート一関店
役職名	代表取締役
住所	一関市中里字南白幡 66-1
T E L	0191-48-4851
F A X	0191-48-4852
事業概要	総合型リユースショップの運営

支部地区	県央支部
氏名	昆 一宗
企業名	(有)昆組
役職名	代表取締役
住所	紫波郡矢巾町大字高田 4-17-4
T E L	019-697-6058
F A X	019-697-6148
事業概要	水道施設工事、鋼構造物工事、内装仕上工事他

素心知困

国の機関、県、各自治体を思い切って訪問してみると、その敷居は思っていたよりも遙かに低いことがわかります。最初堅かった空気は、訪問した私たちが単なる「要求」のために来たのではないことに気づくと、急に「同士」に変化します。▼「中東情勢の緊迫化を踏まえた緊急要望」のようですが、いつの間にか地域づくりの話に。「確かに今は緊急事態。だがむしろ今だからこそ、災害に負けない地域づくりを提起すればみんな聞かなくは。大震災の被災地だからこそわかる」。首長からの発言に呼応して、次々に言葉が生まれます。▼「緊急時にこそ企業と行政が一緒になって、どんどん国に対して発していく。そうならば今年が地方元年になる」。「さつき食品製造業は大変だと聞いたが、ならば地元の新鮮な養殖サーモンを、御社の醤油味噌で地元特産の魅力のなると納税の返礼品にできないか」。危機はちよっとした内緒話を一緒にできる、同士の結合を生み出すチャンスにもなります。

■本紙掲載の例会や諸事業には、所属支部に関係なくどこにでも参加できます。ご連絡下さい。■同友会ホームページを
ご利用下さい。www.iwate.doyu.jp ■例会や役員会などのカレンダーと事業案内を随時更新しています。■本紙掲載
事業への出入返信は、同封のファックス返信用紙またはe.doyuをご利用下さい。

Southern Iwate DSG サザン岩手ドライビングスクールグループ
Southern Iwate Driving School Group

陸前高田ドライビングスクール 三陸技能講習センター
RIKUZENTAKATA DRIVING SCHOOL Sanriku skill training center

平泉ドライビングスクール 遠野ドライビングスクール
HIRAIZUMI DRIVING SCHOOL TOHNO DRIVING SCHOOL

携帯サイトはこちら 

http://
www.si-dsg.com
/mobila

**オリジナルラベル
ワインを作成します**

周年記念、御中元、お歳暮、ノベルティ等

自園自醸ワイン紫波 社名ロゴ 包装、のし無料 12本以上 作成料無料
岩手県紫波町産ぶどう100%

お申し込み・お問い合わせ
Tel. 019-676-5301
自園自醸ワイン紫波 (株)紫波フルーツパーク
醸造元
〒028-3535 岩手県紫波郡紫波町遠山字松原1-11



ゆたかな幸せのために、より良い環境創りで
真の循環型社会を目指します。



浄化槽保守点検 植物 光触媒 CO₂ エネルギー 燃料化 食用品 BDFの製造・販売 BDF燃料

紫波環境株式会社
岩手県紫波郡紫波町南日語字小路口70-1
TEL:019-672-2656 FAX:019-601-2686
http://shiwakankyo.com/

し・浄化槽汚泥収集運搬

めだか

有限会社いわてにつかコミュニティ企画
(事業内容) デイサービス / 生活介護 / 訪問介護 / 住宅型有料老人ホーム
児童デイサービス / 相談支援事業所 / 訪問看護 / 就労継続支援B型



物を大切にし環境にやさしくありたい 使わない人から使いたい人へ
総合リユースショップ **Doki-Doki 2nd STREET**

(株)トータル・リユース
代表取締役社長 **伊瀬 幸郎**
ise yukiro

本社 〒026-0041 岩手県釜石市上中島町2-2-33
TEL:0193-21-2126 FAX:0193-21-2127
携帯 090-8780-3296
E-mail: trise@arion.ocn.ne.jp

**My precious
vehicle car**

安心して快適な暮らしを守り続ける車社会の文化的未来を創造します

有限会社 **小川原自動車钣金**
岩手県盛岡市土淵字谷地道118-1
TEL 019-647-0390




「企業変革支援プログラム ver2」

自社の立ち位置を明確にして
社員とともに目指す企業像

「企業変革支援プログラムステップ1」「企業変革支援プログラムステップ2」を1冊にまとめ、全面改訂

A4判、80ページ。
定価 2,200円
(本体価格 2,000円+税)
2022年10月発行




持続可能な企業と地域のために

～共同求人・社員教育活動のすすめ【改訂版】

「共同求人」「社員教育」を一体として取り組み、強靱な企業づくりと豊かな地域をつくることが求められています。「はじめに」より

A4判 73ページ。
定価 1,000円(税込)



DOYU
I W A T E
同友いわて
2026
Vol.188

発行 / 2026年5月1日発行
岩手県中小企業家同友会
広報委員会

〒0200878 岩手県盛岡市肴町4-5 カガヤ肴町ビル3F
TEL 019-626-4477 FAX 019-626-1644
Mail: info@iwate.doyu.jp